

果樹カメムシ類発生量調査

調査日平成18年 9月26日

調査地点：島根県出雲市芦渡町

概況：9月下旬となり、温度（夜温）は低くなりカメムシ類の活動は鈍くなり、チャバネアオカメムシフェロモントラップ及び予察灯での誘殺数は少なくなっています。また、9月26日の巡回調査において被害果率は8%（平年5.5%）と減少し、新たな加害痕は認められませんでした。今後も気温が低くなっていくため新たな加害も少ないと考えられます。

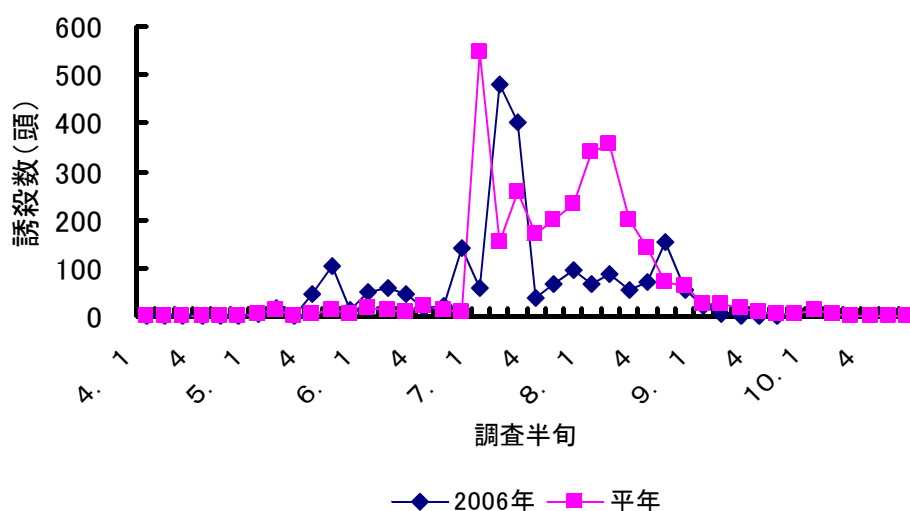


図1 チャバネアオカメムシのフェロモントラップにおける誘殺数

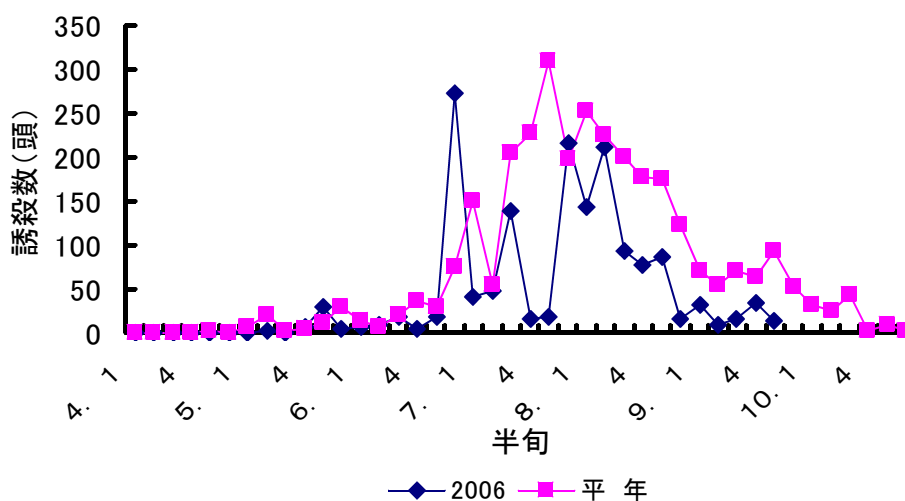


図2 予察灯における果樹カメムシ類の誘殺数

参考：フェロモントラップによるカメムシ調査はチャバネアオカメムシのみをフェロモンによって誘引し誘殺数を数える調査です。
予察灯による調査は水銀灯に集まるカメムシ（チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ）を数える調査です。